

とき 令和元年十一月十七日(日)午前十時始
ところ 福岡市中央区大濠公園一―五

大濠公園能樂堂

電話(〇九二)七二五 二一五五

今村蛟龍会 秋の会

主催 今村蛟龍会

入場無料

ご来場歓迎

今村嘉伸
今村嘉太郎
今村哲朗

ご挨拶

菊香薫る季節になりました 皆様におかれましてはますます
ご清祥のことと心よりお喜び申し上げます

さて今年も今村蛟龍会・秋の会を開催致します

今回は「鸚鵡小町」を門司道子様に披かせて頂きます

また第一回福岡能楽大連吟に御参加下さいました方々にもご

出演頂きます

会員一同精進を重ねて参りました

ぜひこの機会にご高覧賜りたく御同好の方々お誘い合わせの上

ご来場賜りますようお願い申し上げます

令和元年十一月

今村 嘉 伸

今村 嘉太郎

今村 哲 朗

番組

素謡

羽衣

福井ひかりこ

今村嘉太郎

田村

白石ひとみ

木原 溪太

葛城

末永 敦子

渡辺 八郎

野宮

福田 穎子

杉原 京子

菊慈童

野田富紀子

末永 敦子

邯鄲

志間 弘昭

薄 一郎

木原 溪太

仕
舞

砧
前

的野
悦子

田
村
クセ

野田富紀子

笠
之
段
杉原 京子

玉
之
段
末永 敦子

実
盛
キリ
渡辺 八郎

素
謡

融
井上 幸子
的野 悦子

舞囃子

井

筒

宮田浩一郎

飯富 章宏

白坂 信行

相原 一彦

鞍馬天狗

佐々木大壺

飯富 章宏 田中 達

白坂 信行 相原 一彦

融

宮地美輔子

飯富 章宏 田中 達

白坂 信行 相原 一彦

素 謡

今村 哲朗

多久島利之

鸚鵡小町

門司 道子

今村 嘉伸 地

大西 智久

坂口 信男

大西 礼久

屋

島

今村嘉太郎
安藤 洋志

宮田浩一郎

松浦佐用姫

杉原 京子

宮地美輔子

松

風

今村 哲朗

渡辺 八郎

今村嘉太郎

福岡能楽大連吟

高

砂

番外仕舞

熊

野

クセ

今村嘉太郎

安達原

今村哲朗

解説

仕舞 しまい

能の中の見せ場を紋付袴で舞う

舞囃子 まいばやし

能の中の主要部分を囃子入りで紋付袴で舞う

素謡 すうたい

舞や囃子を加えずに、能の一曲を謡う

素謡 鸛鷓小町

百歳の老女となった小野小町を慰問すべく、新大納言行家（ワキ）が陽成院の和歌をたずさえ近江国閑寺を訪れると、都での物乞いを終えた小町（シテ）が帰ってきた。小町から今の暮らしぶりを聞いた行家は、帝の歌を彼女に伝える。老い衰え、歌を詠む気力も枯れていた小町だったが、せつかくの帝の厚意に応えるべく、鸛鷓返し（つるぎは返し）の古法によつて返歌をすると、行家に歌の道を語る。そうするうち、歌人として一世を風靡していた往時の栄華を懐かしんだ彼女は、かつて見た在原業平の輝かしい舞い姿を追憶し、その面影を慕つて舞を舞いはじめる。やがて夕暮れ時、帰つてゆく行家の後ろ姿を見送ると、小町は静かに庵へ歸つてゆくのだつた。

舞囃子 井筒

夜も更ける頃、僧が仮寝をしていると、夢の中に井筒の女の霊が現れます。夢の中の女は、業平の形見の冠（かんむり）・直衣（のうし）を身に付け、業平を恋い慕いながら舞い、さらには、井戸の水に自らの姿を映し、そこに業平の面影を見るのでした。やがて夜が明け、井筒の女は姿を消し、僧も夢から覚めました。

舞囃子 鞍馬天狗

大天狗のもと武芸に励む牛若丸は、師匠の許しがないからと、木の葉天狗との立ち合いを思い留まります。そこに大天狗が威厳に満ちた堂々たる姿を現します。大天狗は、牛若丸の態度を褒め、同じように師匠に誠心誠意仕え、兵法の奥義を伝授された、漢の張良（ちやうりやう）の故事を語り聞かせます。そして兵法の秘伝を残りなく伝えると、牛若丸に別れを告げます。袂に縋る牛若丸に、将来の平家一門との戦いで必ず力になると約束し、大天狗は、夕闇の鞍馬山を翔け、飛び去ります。

舞囃子 融

在りし日の姿で融の亡霊が現れ、月光に照らされながら華麗な遊樂に乗つて舞う。融は、時を忘れたかのようにこの月夜に興じていましたが、夜明けとともに、名残惜しい面影を残して、再び月の都へ戻っていました。

〒
814-
0032

福岡市早良区小田部一丁目十六・二三

今村嘉伸
今村嘉太郎
今村哲朗
電話(〇九二)八四一四八〇〇

